

令和6年度

事業報告

公益財団法人 瀬戸市文化振興財団

目 次

I．事業概要	1
II．事業説明及び事業実績	
1．文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業 （公益目的事業1）	5
2．市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業 （公益目的事業2）	12
3．文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業 （公益目的事業3）	16
4．公益目的事業の推進に資するために行う事業 （収益事業1）	18
III．庶務の概要	19
IV．付属明細書	22

I. 事業概要

当財団は、令和6年度事業の実施にあたり、公益財団法人として公正な事業運営に努めるとともに、市民をはじめ多くの方々に親しまれ、満足いただける文化振興事業の実施に尽力してまいりました。

その一方で、国及び市からの補助金を受けて事業を実施する法人としては、財務状況の分析を的確に行い、効率的な経営に努めるとともに、受益者負担による自主財源の確保にも積極的に取り組み、安定的かつ持続的な財団運営に努めているところです。

また、これまで、瀬戸市の文化行政と連携した事業展開を図り、文化芸術振興と文化財保護の一翼として、「やきもの」を基軸とした文化を育むまちづくりに寄与してまいりました。

1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業 (公益目的事業1)

文化芸術の振興を図るため、文化施設を活用して様々な分野の鑑賞事業や体験事業などを実施いたしました。そして、市民が身近に文化芸術に触れる場を安定的に確保、提供することにより、ゆとりと潤いが実感できる豊かな市民生活に寄与することを目的に事業を行いました。

【舞台鑑賞の機会を提供する事業】

文化ホール公演事業では、落語公演、クラシック音楽公演等、幅広いお客様に舞台芸術を鑑賞する公演を実施しました。特に、「荒牧陽子×松浦航大歌まねコンサート」は満席、「石田泰尚ヴァイオリンリサイタル」も満席近くの方に文化ホールでの公演に参加する機会を提供することができました。

また、瀬戸市出身の作家であり、本屋大賞4年連続ノミネートされた青山美智子の作品を原作とし、声優朗読劇を開催しました。出演者には、若い世代を中心に人気の声優を起用することにより、多くの若い世代の人にも瀬戸市の文化を知るきっかけになる機会を提供しました。

その他、瀬戸市美術館特別展「北川民次と久保貞次郎—真岡市コレクションを中心に—」関連事業として、美術館ロビーで北川民次と関係性の深いメキシコ音楽を聞きながら作品に触れあえる公演を開催しました。公演終了後の作品鑑賞時間を設ける等をし、より作品と音楽の両方を楽しめるものとなりました。

【美術鑑賞の機会を提供する事業】

美術館では、様々な特別展、企画展を開催しました。

せと陶祖まつりに合わせて開催する「せとものフェスタ 2024」では、特別展「春岱—稀代の名工—」として、江戸時代に活躍した春岱の作品を一堂に展示するとともに、御窯屋文書からも春岱の実像に迫りました。

磁祖加藤民吉没後200年事業として、企画展 真玉園 加藤芳樹展を開催し、窯業化学や釉薬・顔料等に関する研究を重ね、釉下彩による色あざやかな作品制作に取り組んでいる加藤芳樹氏の作品を約20点展示しました。

また、特別展「北川民次生誕130年記念 瀬戸市美術館特別展 北川民次と久保貞次郎—真岡市コレクションを中心に—」では、北川民次と親交のあった久保貞次郎に着目し、久保貞次郎が収集し真岡市に寄贈した225点に及ぶ北川民次作品の中から絵本の原画を始め80点を展示しました。

次に、瀬戸市美術館特別企画展「瀬戸染付—軌跡そして技と美—」として、江戸時代後

期の瀬戸染付草創期から尾張藩の御用品として製作された作品、明治時代に海外に輸出され里帰りした作品、昭和時代の無形文化財保持者の作品までを一堂に展示しました。加えて皇室で使用されている盆器を特別出品しました。

特別展「九谷赤絵の極致 宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界展」では、細密描写を実現した高い技術力や独自の意匠による豊かな表現の赤絵作品を 170 点展示しました。

また、これらの展示に、より関心を持っていただくための関連事業として、ギャラリートークやワークショップなどを実施しました。

新世紀工芸館では、現代陶芸やガラス工芸を扱う施設として、国内外で活躍する新進気鋭の作家が制作した、多彩で創造性に優れた作品を紹介する企画展を開催しました。開館 25 周年記念展として開催した「25 年の歩み—研修修了生作品展」では、1999 年 5 月開館以降の当館研修事業における陶芸・ガラス工芸コース修了者による作品群を 2 期に分けて展覧し、その歩みを紹介しました。また、愛知県陶磁美術館との共催事業企画展として開催した「やきもの現代考—混融 Mixed Melting—」では、「やきもの」という言葉が含みうる表現の範囲を再考するものとして陶芸・ガラス・七宝作家の取り組みに焦点を当てた内容を展覧。そして 10 月から 11 月にかけて開催された国際芸術祭あいち地域展開事業「底に触れる 現代美術 in 瀬戸」では、瀬戸のまちなかにおける 1 会場となるなど、地域内外における新たな来館者層への施設周知に繋がる機会となりました。年度末に開催した「第 21 期研修生修了作品展・第 22 期研修生作品展」では、革新的な陶芸やガラス工芸の作品群と研修生の日々の取り組みや研修成果を広く紹介することができました。交流棟のギャラリーでは、登録作家による陶磁器とガラスを素材とする季節に合わせた多種多様な作品を展示・販売いたしました。

瀬戸染付工芸館は、瀬戸染付の技術伝承と普及を目的とする施設として、瀬戸染付作品を紹介する企画展を開催しました。また、「瀬戸染付工芸館修了生作品展」や「瀬戸染付工芸館研修生作品展」を開催し、現代の瀬戸染付の作品を紹介しました。本館 1 階では「若手染付作家作品展」を開催し、当館の研修を修了後、各地域で活躍している染付作家の作品を展示・販売しました。

【体験活動の機会を提供する事業】

新世紀工芸館及び瀬戸染付工芸館では、現代陶芸やガラス工芸のほか、やきものの文化と瀬戸染付の伝統的な技法を紹介するため、各種体験教室を開催しました。新世紀工芸館では、初心者でも気軽に参加でき、手づくりの魅力を体験できる機会となりました。

瀬戸染付工芸館では、初心者でも気軽に参加できる予約不要の染付体験のほか、また、隔月でテーマを決めた体験教室を開催し、染付技術の理解と普及に繋げました。

【文化芸術に触れる場の提供を行う事業】

文化ホールや文化交流館を文化芸術に親しむ場として提供し、文化団体等の主体的・創造的な活動の場を支援しました。令和 6 年度は、文化ホール及び文化交流館の電気工事が、令和 7 年 3 月 3 日から 14 日まで実施されたことに伴い、通常の利用が制限されましたが、できる限り利用者の意向に沿うよう対応しました。

文化ホールでは、令和 5 年度と比べ、使用件数が 50 件、入場者数では 5,371 人の減少となりました。

文化交流館では、令和 5 年度と比べ、使用件数は 64 件、利用者数では 4,975 人の増加となりました。

美術館では、電気工事、展示入替のため令和 7 年 2 月 24 日から 4 月 18 日まで休館したこともあり、令和 5 年度と比べ、開館日数が 27 日、入館者数では 643 人の減少となりました。

また、使用率（使用日数÷使用可能日数）は、文化ホールでは 63.1%で、令和 5 年度と比

較し、3.1%の減少となりました。文化交流館の会議室等では、平均使用率が56.9%で、令和5年度と比較し2.1%の増加となりました。

今後も、適正な管理及び運営に努め、施設利用の促進に努めてまいります。

2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業（公益目的事業2）

陶芸やガラス工芸などに関する分野の専門知識、技能を習得する人材育成事業や創作・発表の機会を提供することで、市民の主体的な文化芸術活動を支援奨励し、地域の文化芸術の振興に寄与しました。

【人材育成の機会を提供する事業】

新世紀工芸館及び瀬戸染付工芸館では、次世代を見据えた若手作家の育成と伝統的技術の習得と継承を掲げ、これまで多くの研修生を受け入れてきました。研修施設では、自由な創作活動の場として、研修生が自ら選んだ課題に取り組み、地元作家や外部講師の指導や助言を受けつつ、主体的で独創的な制作活動ができるよう支援してきました。

今後も、魅力ある研修機関として、さらに瀬戸焼の情報発信の場であり地域密着の研修施設として、積極的に研修生の受け入れを進めてまいります。

【文化芸術活動を支援・奨励するための事業】

第77回美術展や第73回文芸発表会には、部門により応募者数の差はあるものの、令和6年度も多く皆さんからご応募いただき、関心の高さが伺えました。今後もより多くの皆さんからご応募をいただけるよう取り組んでまいります。

【発表する機会を提供する事業】

市民の文化芸術活動を促進するために、瀬戸市文化協会と連携して行う「文化の祭典」では、参加された51団体と個人会員3名の会員662名が、日ごろの練習の成果を披露しました。

また、ふれあい芸術展では、テーマを「我がまち瀬戸」とし、改めて瀬戸を見つめなおす機会ととらえ、絵画・写真・書道など、26団体と個人17名の会員が作品232点を展示しました。期間中は舞台部門有志によるロビーコンサートや4日間のふれあい茶会も久しぶりに復活し、来館者に楽しんで鑑賞いただける機会を提供いたしました。

【将棋文化支援事業】

瀬戸将棋文化振興協会の事務局として、将棋を通じた伝統文化の継承や知識の普及向上を図るため、こども将棋大会の開催や地元棋士の応援活動として、タイトル防衛時のくす玉開きなどを行いました。

3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業（公益目的事業3）

瀬戸は平安時代後期から現代にかけて1000年余の歴史をもつ、国内を代表する陶磁器産地であり、その歴史は我が国の窯業史として、同時に郷土の産業史として重要な位置を占めます。

本市の最大の特徴である窯業史についての調査、資料整理、研究を通して、情報及び学習活動の機会の提供を行いました。

また、市内で唯一の埋蔵文化財調査機関として、記録保存のための調査や学術調査を実施し、資料の保存や公開を行いました。

【埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業】

当財団の責務から、文化芸術活動の振興と文化財保護活動は、やきものを基軸とした一体的な事業展開が求められております。そのうち文化財保護活動では、調査・研究・保存・活用といった点において、さまざまな角度から成果を明らかにし、展示・公開など情報提供に取り組んでまいりました。

確認調査では、長谷口遺跡及び西本地町南遺跡を対象とし、多くの遺物が出土しました。今後は、これら出土遺物の整理作業を進め、調査成果をまとめた報告書の作成とともに、資料の保存・活用に繋げてまいります。

【窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集・整理を行い、成果の情報提供を行う事業】

瀬戸焼を中心とした文化財や窯業史に関して情報提供を行うことにより、窯業史研究の発展とともに、郷土の文化財や歴史への興味を喚起し、知識を深めるため、瀬戸焼データベースの構築や研究紀要の発刊を行いました。

【文化財に関する学習活動の機会を提供する事業】

文化財に関する学習活動では、窯業史に関する講演会や瀬戸蔵ミュージアム等を会場とした企画展示、そして文化財・史跡の見学会などを通じて、郷土の歴史に関心を持ち次世代に伝える文化財の普及に努めたほか、小学校などに講師を派遣し、文化財や歴史についての理解を深める学習機会の提供に努めました。

4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業（収益事業1）

瀬戸市から管理運営を受託している文化センターの各施設は、空き時間の有効利用を図り、利用促進に繋げることを目的として、公益目的事業以外に貸与しました。

貸与実績の主な内容は、市役所等官公庁及び関係機関が、フォーラム・総会・大会・公募展・会議・芸術文化公演・研修会・報告会及び全市的な催し物などに利用される場合のほか、民間企業及び団体による芸術文化公演・コンクール・大会・展覧会・健康診断業務・各種相談業務・セミナー・研修会・勉強会・会議・練習など幅広く利用していただいております。

引き続き、効率的かつ快適な施設の維持管理に努め、利用促進を図ってまいります。

Ⅱ．事業説明及び事業実績

1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

(1) 舞台鑑賞の機会を提供する事業（主催・共催公演事業）

① 文化ホール公演事業

(ア) 主催公演

事業名	開催日	入場料	入場者数
chay Special Live	7/13(土)	一般 3,500 円 中高大 2,000 円 小学生以下 1,000 円	467 人
朗読劇 SETO Reading Vol.1 「お探し物は図書室まで」(原作：青山美智子) (石見舞菜香・岡本信彦・土屋李央・長谷川育美)	3/15(土)	7,150 円 瀬戸蔵つばきホール	696 人 (完売)

(イ) 共催公演

事業名	開催日	入場料	入場者数
特撰落語名人会 (三遊亭小遊三・林家たい平・柳家花緑)	5/3(金)	4,500 円	1,050 人
荒牧陽子×松浦航大歌まねコンサートツアー ～KING&QUEEN～Supported by YABUSHITA	6/15(土)	5,000 円	1,400 人 (完売)
石田泰尚ヴァイオリンリサイタル	2/11 (火・祝)	4,500 円	1,211 人

② 音楽鑑賞・音楽活動普及公演事業

(ア) 主催事業

事業名	開催日	入場料	入場者数
「北川民次と久保貞次郎 —真岡市コレクションを中心に—」関連事業 美術館ロビーコンサート メキシコ音楽の夜～Fiesta Mexicana～	9/20(金)	500 円	88 人 (定員100人)

(イ) 共催公演

事業名	開催日	入場料	入場者数
ピアノの魔術師 ファミリーコンサート	9/22(日)	一般 2,000 円 中学生以下 500 円 3 歳以下無料	397 人
響く翼 沸き立つ鼓動 —二台ピアノとティンパニで聴く交響曲—	2/24 (月・振)	一般 3,000 円 高校生以下 1,000 円	約 300 人

③ アーティストを派遣して学校と連携し芸術を届ける事業
舞台芸術アウトリーチプログラム「アートでともだち」

実施校	実施日	派遣アーティスト	対象
水野小学校	12/13(金)	みやけん (ピアノ YouTuber)	6 年生 79 名
水南小学校	12/17(火)	LOVE KNOW 福田勝太 (ヴァイオリン)、大竹かな子 (ピアノ)、鈴木豊大 (パーカッション)	全学年 431 名
南山中学校	2/18(火)	LOVE KNOW 福田勝太 (ヴァイオリン)、大竹かな子 (ピアノ)、鈴木豊大 (パーカッション)	特別支援学級 14 名

(2) 美術鑑賞の機会を提供する事業 (企画展開催)

① 美術作品の展示を行う事業 (瀬戸市美術館企画展)

事業名	開催期間	入場者数
せとものフェスタ 2024 瀬戸市美術館特別展 「春岱 一稀代の名工」	4/20～6/2	1,371 人

【関連事業】

(ア) ギャラリートーク

会場 美術館展示室

日時 4月27日(土) 午後1時30分から

参加者 16名

(イ) ワークショップ 象嵌体験

講師 瀬戸陶芸協会 滝川幸志氏

会場 文化交流館 22 会議室

日時 5月19日(日) 午前10時30分から、午後2時から

参加者 1回目10名、2回目9名

(ウ) 春岱作品タッチ&トーク

講師 前田博氏

会場 文化交流館 12 会議室

日時 5月27日(日) 午後1時30分から

参加者 10名

・磁祖加藤民吉没後200年事業 瀬戸市美術館企画展 「真玉園 加藤芳樹展」 ・瀬戸市美術館企画展 新収蔵品展 ―「タカラモノ」を守り継ぐ― ・瀬戸市美術館企画展「加藤昭男 彫刻展」	6/8～7/28	1,118 人
瀬戸市美術館特別展 北川民次生誕130年記念 北川民次と久保貞次郎―真岡市コレクションを中心に―	8/3～9/29	2,479 人

【関連事業】

(ア) ロビーコンサート

会場 美術館ロビー

日時 令和6年9月20日(金) 午後6時30分から午後7時30分

参加者 参加者数 88名

磁祖加藤民吉没後200年事業 瀬戸市制施行95周年記念 瀬戸市美術館特別企画展 瀬戸染付―軌跡そして技と美―	10/5～11/24	1,620人
---	------------	--------

【関連事業】

(ア) シンポジウム「瀬戸染付の発展と展開」

講師 宮内庁三の丸尚蔵館主任研究員 岡本隆志氏

愛知県陶磁美術館長 佐藤一信氏

会場 文化交流館32会議室

日時 11月23日(土・祝) 午後1時30分から

参加者 52人

(イ) ギャラリートーク

会場 美術館展示室

日時 1回目 11月4日(月・振替休日) 午後1時30分から

2回目 11月16日(土) 午後1時30分から

参加者 1回目 17人 2回目 13人

瀬戸市美術館特別展 九谷赤絵の極致 宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界	11/30～2/23	2,031人
---------------------------------------	------------	--------

【関連事業】

(ア) 九谷赤絵絵付実演

講師 聖窯 山本芳岳氏

会場 美術館ロビー

日時 12月7日(日) 午前10時から10時30分まで

午前11時から11時30分まで

参加者 42人

(イ) 九谷赤絵絵付体験ワークショップ

講師 聖窯 山本芳岳氏

会場 文化交流館22会議室

日時 12月7日(日) 午後2時から4時まで

参加者 20人

(ウ) ギャラリートーク

会場 美術館展示室内

日時 ①12月15日(日) 午後1時30分から

②1月11日(土) 午前10時から

参加者 ①17人 ②18人

② 陶芸・ガラス工芸に特化した作品展示を行う事業（新世紀工芸館企画展）

（ア）展示棟企画展

名 称	開催期間	入館者数
I 新世紀工芸館研修修了生作品展 「25年の歩み Part1」	4/1～5/19	1,068 人
II 新世紀工芸館研修修了生作品展 「25年の歩み Part2」	6/1～7/21	822 人
III 国際芸術祭「あいち」地域展開事業 「底に触れる 現代美術 in 瀬戸」（※新世紀工芸館展示作家：後藤あこ、井村一登、津野青嵐）	10/12～11/4	会場別入館者数 未公表 ※企画総来場者数 27,797 人
IV 愛知県陶磁美術館×瀬戸市新世紀工芸館共催事業企画展 若手作家紹介事業 02 「やきもの現代考ー混融 Mixed Meltingー」	11/16～1/13	949 人
V 「21 期研修生修了作品展 22 期研修生作品展」	1/20～3/17	1,553 人

※7/22～9/13 は空調設備改修工事の為、展示棟臨時休館

（イ）交流棟 2 階企画展

名 称	開催期間	入館者数
「陶とガラスの端午の節句展」	4/1～5/19	848 人
「Passion for Creation2 研修修了生作品展」	4/1～7/21	1,615 人
「夏と秋の陶とガラス展」	7/27～9/22	1,609 人
国際芸術祭「あいち」地域展開事業連携企画 「瀬戸国際セラミック&ガラスアート交流プログラムの軌跡-招聘作家寄贈作品展-」	10/12～11/4	1,025 人
「冬のおくりもの展 同時開催：干支の置物展」	1/27～1/19	881 人
「春の陶とガラス展 同時開催：節句の置物展」	1/25～3/16	1,395 人

③ 伝統的工芸品の展示を行う事業（瀬戸染付工芸館企画展）

名 称	会場	開催期間	入館者数
「瀬戸染付 吹き墨の技法」	交流館 2 階	4/6～7/28	899 人
「瀬戸染付 富士の表現」	交流館 2 階	8/3～11/24	787 人
「瀬戸染付 草花の表現」	交流館 2 階	12/7～3/23	618 人

若手染付作家作品展(前期)	本館 1 階	4/1～11/5	1,400 人
若手染付作家作品展(後期)	本館 1 階	11/12～3/24	747 人
瀬戸染付工芸館修了生作品展(前期)	本館 2 階	4/1～11/5	1,400 人
瀬戸染付工芸館修了生作品展(後期)	本館 2 階	11/12～3/24	747 人
令和 6 年度染付工芸館研修生作品展	文化センター 1 階 文化交流館ギャラリー	3/20～3/23	135 人

④ 地域の美術作品の展示を行う事業（瀬戸信用金庫アートギャラリー）

アートギャラリー企画展

事業名	開催期間	入場者数
瀬戸の橋 一橋を彩る作家達一	4/6～5/12	358 人
瀬戸信用金庫新収蔵作家作品展	5/18～6/23	286 人
生誕 130 年記念 北川民次母子像展	6/29～8/12	494 人
写真展 なつかしい瀬戸の風景 ー伊里一彦撮影によるー	8/17～9/29	1,430 人
北川民次と瀬戸信用金庫カレンダー展	11/16～12/27	379 人
愛知県立芸術大学陶磁専攻教員展	1/11～2/16	260 人
鈴木青々と受け継がれる創造の系譜展	2/22～3/30	265 人

(3) 体験活動の機会を提供する事業

① 体験活動を行う事業

(ア) 新世紀工芸館の体験事業

名称	開催日	参加者数
陶芸体験 (手びねり体験・絵付け体験)	原則として第 4 日曜日に開催 ※ 4 ～ 8 月開催は令和 6 年度愛知県陶磁美術館との共催にて実施	208 人 ※団体利用含む
ガラス体験	年間 8 回開催、出張体験 1 回開催 ※出張体験：12 月 24 日(火) SOLAN 学園	130 人 ※出張体験含む

陶とガラスのセミナー	第1回：6月30日（日） 「ガラスのうつわで楽しむ薬膳」	1回：16人
	第2回：10月20日（日） 「リペアを楽しむ陶」	2回：8人
	第3回：12月7日（土） 「光のモビールガラス×ヒンメリ」	3回：11人
	第4回：2月15日（土） 「うつわを楽しむチャイ」	4回：10人
愛知県陶磁美術館共催事業	8月4日(土) 「アーティスト in 出張陶芸館 加藤真美」デモンストレーション&アーティストトーク	32人

(イ) 瀬戸染付工芸館の体験事業

名 称	開催日・開催期間	参加者数
瀬戸染付体験教室（扁壺）	4/27	12人
〃 （タルト皿）	6/22	20人
〃 （花型皿）	8/24	16人
〃 （オーバル皿）	10/26	11人
〃 （角形一輪挿し）	2/22	4人
常設体験	通年で開催（誰でも気軽に瀬戸染付！） 4月1日～3月31日	762人

(ウ) 文化体験講座

事 業 名	開催日 (期間)	参加者数
夏休み期間中に、瀬戸市文化協会会員が講師を務め初心者を対象とした文化体験講座（舞踊、箏、和太鼓、大書、陶芸、彫刻、版画、尺八、フラダンス、マジック、百人一首、漢字を学ぼう等の20講座）を開講。	7月21日～ 8月28日	247人

(4) 文化芸術に触れる場の提供を行う事業（文化施設運営事業）

①市民文化に触れる場の提供（地域文化広場運営事業）

【文化ホール】【文化交流館】

年間を通して通常の貸館を実施し、市民文化に触れる場の提供を行った。
ただし、令和7年3月3日から14日まで、電気工事のため休館した。

項目		令和6年度		令和5年度		対前年比			
		件数 A	人数 A'	件数 B	人数 B'	件数 A-B	件数(割合) A/B	人数 A'-B'	人数(割合) A'/B'
文化ホール	ホール	205	60,601	229	65,611	△24	90	△5,010	92
	リハーサル室(1)	141	4,902	143	5,048	△2	99	△146	97
	リハーサル室(2)	62	602	85	809	△23	73	△207	74
	リハーサル室(3)	65	443	66	451	△1	98	△8	98
	小計	473	66,548	523	71,919	△50	90	△5,371	93
文化交流館	11会議室	242	8,447	225	7,938	17	108	509	106
	12会議室	260	9,939	238	8,839	22	109	1,100	112
	13会議室	293	8,966	285	8,480	8	103	486	106
	ギャラリー	174	11,711	157	11,730	17	111	△19	100
	21会議室	233	7,689	249	7,480	△16	94	209	103
	22会議室	247	13,320	251	12,477	△4	98	843	107
	31会議室	252	18,700	238	17,249	14	106	1,451	108
	32会議室	239	3,324	252	3,461	△13	95	△137	96
	和室	139	3,688	132	3,785	7	105	△97	97
	茶室	83	1,572	71	942	12	117	630	167
	小計	2,162	87,356	2,098	82,381	64	103	4,975	106
総合計		2,635	153,904	2,621	154,300	14	101	△396	100

項目		令和6年度		令和5年度		対前年比			
美術館		開館日数 A	入場者数 A'	開館日数 B	入場者数 B'	開館日数(日)		入場者数(人)	
		285	9,456	312	10,099	A-B	A/B	A'-B'	A'/B'
						△27	91	△643	94

2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業

(1) 人材育成の機会を提供する事業（研修生育成事業）

(ア) 工芸分野における研修生の育成を行う事業（新世紀工芸館研修生）

コース	21期生	22期生	合計
陶芸コース	2人	3人	5人
ガラス工芸コース	3人	1人	4人

企画展名称	開催期間	開催場所	入館者数
【再掲】 瀬戸市新世紀工芸館 21期研修生修了作品展・22期研修生 作品展	1/25～3/16	新世紀工芸館 展示棟	1,553人

(イ) 瀬戸染付技術における研修生の育成を行う事業（瀬戸染付工芸館研修生）

令和4年度入館生	令和5年度入館生	令和6年度入館生	合計
1人	1人	1人	3人

企画展名称	開催期間	開催場所	入館者数
【再掲】 令和6年度染付工芸館研修生作品展	3/20～3/23	文化センター1 階 文化交流館ギャ ラリー	135人

(ウ) 新世紀工芸館・瀬戸染付工芸館における研修生を支援する事業

名称	開催期間	開催場所	参加者数
館外研修 「パラミタ陶芸大賞展 展示鑑賞」	6/13	パラミタ ミュージアム	新世紀工芸館 研修生 6人
「陶芸家 氏家昂大氏 特別講義」	9/5	新世紀工芸館 工房棟	新世紀工芸館 研修生 8人
館外研修 「ガラス工房見学」	10/29	富山ガラス造形 研究所、富山ガ ラス工房、 S glass studio	新世紀工芸館 研修生 7人
館外研修「国際陶磁器展美濃 鑑賞およ び 原料業者見学」	10/30	岐阜県現代陶芸 美術館、 カネ利陶料	新世紀工芸館 研修生 6人
「版画家 常田泰由氏 ワークショッ プ」	11/3～11/4	新世紀工芸館 工房棟	新世紀工芸館 研修生 8人
館外研修「陶芸家 木曾志真雄氏 工房 見学および特別講義」	12/19	市内 木曾氏工房	新世紀工芸館 研修生 6人
「陶芸家 加藤令吉氏 特別講義」	3/6	新世紀工芸館 工房棟	新世紀工芸館 研修生 9人

「21期研修生修了作品展・22期研修生作品展作品講評」	2/6(坂本氏) 2/14(金氏氏) 3/6(加藤氏)	新世紀工芸館 展示棟	新世紀工芸館 研修生 9人
-----------------------------	-----------------------------------	---------------	------------------

(エ) 新世紀工芸館・瀬戸染付工芸館における研修生の作品展示を支援する事業

名称	開催期間	開催場所	参加者数
研修生作品展	通年	新世紀工芸館 交流棟1階ギャ ラリースペース	新世紀工芸館 研修生 9人
研修生紹介展示	通年	せとまちツクリ テセンター	新世紀・染付工芸 館研修生 12人
研修生紹介展示	通年	瀬戸信用金庫 栄町支店	新世紀工芸館 研修生 3人
「ガラス陶芸新進作家作品展」	7/23～7/28	名古屋市民 ギャラリー矢田	新世紀・染付工芸 館研修生 12人
「せともの祭」出展	9/14～9/15	せとまちツクリ テセンター前 及び青の広場	新世紀・染付工芸 館研修生 12人
「第24回陶のまち瀬戸のお雛めぐり」 ひなミッド作品出展	2/1～3/9	瀬戸蔵	新世紀・染付工芸 館研修生 12人
「やきものワールド2025」	2/28～3/4	ポートメッセ なごや	新世紀・染付工芸 館研修生 10人

(2) 文化芸術活動を支援・奨励するための事業

① コンクール（美術展・文芸発表会）

(ア) 第77回瀬戸市美術展

部 門	出品点数（内入選数）		美術展開催期間・場所
	令和6年度	令和5年度	
日 本 画	22 (22)	19 (17)	10/16（水）～20（日） 入場者数 1,833 人 （前年度 1,716 人） 文化センター文化交流館
洋 画	121(121)	118(118)	
彫 刻	14 (11)	11 (11)	
陶 芸	34 (34)	38 (34)	
書 道	24 (24)	17 (17)	
写 真	88 (88)	95 (95)	
工芸美術	27 (27)	31 (31)	
合 計	330(330)	333(323)	

(イ) 第73回瀬戸市文芸発表会 () 内は前年度

部 門	選者選句	自選句	開催日・会場
俳 句	《一般の部》 応募句数 791 句 (721 句) 特選 12 句、入選 85 句 《小中学生の部》 応募句数 1,026 句 (854 句) 特選 12 句、入選 110 句	応募句数 89 句 (56 句)	2/16(日)表彰式 記念講演会 外山 敦子 氏 参加者数 40 人 文化センター 文化交流館
短 歌	《一般の部》 応募歌数 595 首 (511 首) 特選 5 首、入選 66 首 《小中学生の部》 応募歌数 649 首 (313 首) 特選 5 首、入選 65 首	応募歌数 38 首 (47 首)	
川 柳	《一般の部》 応募句数 503 句 (526 句) 特選 6 句、入選 56 句 《小中学生の部》 応募句数 200 句 (193 句) 特選 6 句、入選 22 句	応募句数 30 句 (39 句)	
詩	《一般の部》 応募詩数 60 編 (67 編) 特選 2 編、入選 3 編 《小中学生の部》 応募詩数 83 編 (149 編) 特選 2 編、入選 4 編	応募詩数21編 (18 編)	

(3) 発表する機会を提供する事業（市民文化活動支援事業）

(ア) 舞台における文化活動の発表を行う事業（文化の祭典）

部 門	開催日	会場	出演者数	来場者数
文化の祭典「邦楽」	5/19(日)	文化センター文化ホール	92 人	約 200 人
文化の祭典「洋楽Ⅱ」	5/26(日)	文化センター文化ホール	170 人	約 200 人
文化の祭典「詩吟・民謡・和太鼓」	6/9(日)	文化センター文化ホール	194 人	約 240 人
文化の祭典「洋楽Ⅰ」	6/23(日)	文化センター文化ホール	206 人	約 230 人

(イ) 吟行会を通して文芸の発表を行う事業（ふれあい吟行会）

部 門	開催日	開催場所	参加人数
ふれあい吟行会	9/26(木)	岐阜県 「南宮大社と樽井宿」	38 人

(ウ) 美術、いけばな、茶道における文化活動の発表を行う事業（ふれあい芸術展）

部 門	開催日	開催場所	入場者数
書道展	5/10～12	文化センター 文化交流館	301 人
市民茶会	5/12	文化センター 文化交流館	335 人
ふれあい芸術展	10/23～27	文化センター 文化交流館	約 700 人

ふれあい茶会	10/24～27	文化センター 文化交流館	229 人
新春いけばな展	1/25・26	文化センター 文化交流館	約 480 人
新春茶会	1/25・26	文化センター 文化交流館	約 479 人

(4) 将棋文化支援事業

瀬戸将棋文化振興協会の事務局として、将棋を通じた伝統文化の継承や知識の普及向上を図るとともに地元棋士の応援活動を実施。

(ア)

事業名	開催日	部門	参加者数
第 21 回詰将棋解答選手権(瀬戸会場)	4/13 (土)	初級戦	29 名
		一般戦	23 名

(イ)「夏休み瀬戸将棋グランプリ 2024」開催

事業名	開催日	部門	参加者数
こども将棋大会	8/18(日)	小学2年生以下	26 名
		小学3・4年生	32 名
		小学5・6年生	31 名
		中学生	21 名
指導対局	8/18(日)	<参加棋士> 木村一基九段、柵木幹太四段、竹内貴浩指導棋士 四段、室田伊緒女流三段、中澤沙耶女流二段	

(ウ) 将棋教室

7月24日(水) 瀬戸市立効範小学校において宮嶋健太四段をお招きし、将棋教室を行いました。

(エ) 地元棋士応援事業(藤井聡太棋士)

第82期名人戦をはじめタイトル戦防衛を祝いくす玉開きを行いました。

9月3日(火) 史上最年少永世二冠資格獲得の横断幕を瀬戸蔵に掲出しました。

3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業（埋蔵文化財調査事業）

(ア) 埋蔵文化財の保護・保存のため、発掘調査や試掘調査を行う事業（発掘調査）

調査種別	遺跡名	所在地	調査面積	遺跡の時期	調査の時期
確認調査	長谷口遺跡	長谷口町	約 50 m ²	古代・中世	5 月
	西本地町南遺跡	西本地町	約 50 m ²	古代・中世	1 月

(イ) 出土品の整理、発掘調査資料の整理を行う事業（整理作業）

遺跡名	所在地	発掘年度
幡山遺跡	東菱野町	令和 2 年度
扶桑北窯跡	山路町	令和 4 年度
下品野遺跡	品野町	令和 5 年度

(ウ) 成果をまとめた報告書を刊行し公開する事業（報告書作成）

遺跡名	所在地	発掘年度
幡山遺跡	東菱野町	令和 2 年度
扶桑北窯跡	山路町	令和 4 年度
下品野遺跡	品野町	令和 5 年度

(2) 文化財に関する学習活動の機会を提供する事業（普及啓発事業）

(ア) 瀬戸焼を中心とした窯業史についての講演会を開催する事業（歴史講演会）

演題	講師	日時	会場	参加者数
江戸出土の喫茶具	鈴木裕子（株式会社イビソク）	12/7(土)	長久手市文化の家光のホール	約 30 人

(イ) 瀬戸焼をテーマとした企画展示を行う事業（文化財企画展）

展覧会名	会期	会場	入館料	入館者数
喫茶とせとやき	11/23～ 12/22	長久手市郷土資料室企画展示室	無料	385 人

【関連事業】

○展示説明会

会 場：長久手市郷土資料室企画展示室

日 時：12月7日（土）

参加者数：約 20 人

(ウ) 瀬戸焼の歴史や民俗、産業史に関する常設展示を行う事業

（瀬戸蔵ミュージアム常設展示）

(エ) 歴史・発掘調査成果等の企画展示を行う事業（文化財企画展）

展 示	開催場所	開催期間	入館者数
新出土品展 穴山窯跡 赤津に遺された古瀬戸最盛期の窯	瀬戸蔵ミュージアム 企画展示室	4/27～8/25	13,011 人
愛知県陶磁器技能士会展	瀬戸蔵ミュージアム 中央通りギャラリー	4/27～7/21	8,920 人
土の詩～愛陶工陶芸部会展～	瀬戸蔵ミュージアム 中央通りギャラリー	7/27～10/20	11,717 人
新収蔵品展 2020-2022	瀬戸蔵ミュージアム企画 展示室	9/7～1/19	16,982 人
むかしの道具展	瀬戸蔵ミュージアム 中央通りギャラリー	10/26～3/9	10,130 人
瀬戸窯業試験場 半世紀のあゆみ ー試作品に見るデザインの変遷ー	瀬戸蔵ミュージアム企画 展示室	1/26～3/16	10,066 人
瀬戸蔵ミュージアム 20 年のあゆみ	瀬戸蔵ミュージアム 中央通りギャラリー	3/15～4/20	4,791 人 (3/31 まで)

(オ) 文化財、史跡の見学会等を行う事業（文化財見学会）

行事名	開催日	内容	参加人員
せと歴「山田重忠と山田荘」	5/18	承久の乱で活躍した山田重忠ゆかりの地などをめぐり解説する	26 人
秋の馬ヶ城 2024	11/30	馬ヶ城地区にある遺跡の解説及び植生の見学	41 人
水南のマメナシ界限	3/30	市指定天然記念物のマメナシの生態と水南地区にある遺跡の見学	15 人

(カ) 学校や市民の学習会に講師等を派遣する事業（講師等の派遣）

依頼者	派遣日	内容	対象
Land of Pottery ー瀬戸体感陶器市ー	4/20・ 21	陶祖祭に伴うやきものを対象とするイベント内での出展	市民 約 100 人
幡山西小学校	4/26	瀬戸市の出土品に関する体験学習等	6 年生 87 人
西陵小学校	5/27	瀬戸市の出土品に関する体験学習等	6 年生 120 人
長根小学校	5/28～ 30	埋蔵文化財センター施設見学及び体験学習等	6 年生 86 人
下品野小学校	6/7	瀬戸市の出土品に関する体験学習等	6 年生 61 名
ノベルティ・こども創造館 夏祭り実行委員会	8/21	来場者に 800 年前のやきものに触れる機会を提供する	一般

シティプロモーション課	11/9・ 10	SOCIAL TOWER MARKET2024 瀬戸市 PR コーナーでの発掘体験	一般
窯跡の杜びと	1/19	洞・東洞 A 窯跡の発掘調査報告と窯跡の杜の歴史解説	一般
シティプロモーション課	3/23	リニモ 20 周年記念イベントでのやきものの発掘体験	一般

4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業（収益事業）

当財団が管理運営している文化センターの利用促進や空き時間の有効利用を図るため、公益目的事業以外に利用する個人や団体などに貸与しました。

Ⅲ. 庶務の概要

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第1回 令和6年5月22日	1 令和6年度収支予算の変更に関する件 2 令和5年度事業報告に関する件 3 令和5年度決算報告に関する件 4 第13回定時評議員会招集に関する件	原案どおり 可決	文化センター 文化交流館 22会議室
第2回 令和6年6月27日	1 理事長の選定に関する件 2 副理事長の選定に関する件 3 常務理事の選定に関する件	原案どおり 可決	書面決議
第3回 令和7年2月20日	1 臨時評議員会の開催に関する件令和6年度収支予算書の変更に関する件 2 令和7年度事業計画書に関する件 3 令和7年度収支予算書に関する件 4 令和7年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件 5 臨時評議員会招集に関する件	原案どおり 可決	文化センター 文化交流館 22会議室
第4回 令和7年3月31日	1 常務理事の選定に関する件 2 重要な使用人の選任に関する件	原案どおり 可決	書面決議

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第13回定時 令和6年6月18日	1 令和6年度収支予算の変更に関する件 2 令和5年度事業報告に関する件 3 令和5年度決算報告に関する件 4 評議員の選任に関する件 5 理事の選任に関する件 6 監事の選任に関する件	原案どおり 可決	文化センター 文化交流館 22会議室

第1回臨時 令和7年3月28日	1 令和6年度収支予算書の変更に関する件 2 令和7年度事業計画書に関する件 3 令和7年度収支予算書に関する件 4 令和7年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件 5 理事の選任に関する件 6 監事の選任に関する件	原案どおり 可決	文化センター 文化交流館 22会議室
--------------------	---	-------------	--------------------------

(3) 監査会

実施年月日	監査事項	監査結果	会場
令和6年5月9日	令和5年度 事業報告及び決算報告	適法適正 処理	文化センター 文化交流館 21会議室

(4) 役 員

役職名	氏 名	任 期
理事長	川本 雅之	令和6年6月18日から令和8年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
副理事長	亀谷 政代司	令和6年6月18日から令和8年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
常務理事	藤井 邦彦	令和6年6月18日から令和8年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	水野 和郎	令和6年6月18日から令和8年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 唐三郎	令和6年6月18日から令和8年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	若杉 福雄	令和6年6月18日から令和8年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 和守	令和6年6月18日から令和8年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	波多野 正典	令和6年6月18日から令和8年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	二宮 あづさ	令和6年6月18日から令和8年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 正彦	令和6年6月18日から令和8年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監 事	小澤 修	令和6年6月18日から令和10年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

監 事	戸田 仁司	令和6年6月18日から令和10年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
-----	-------	--

(5) 評議員

役職名	氏 名	任 期
評議員	大森 雅之	令和6年6月18日から令和10年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	加藤 令吉	令和6年6月18日から令和10年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	加藤 創子	令和6年6月18日から令和10年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	蟹井 富貴	令和6年6月18日から令和10年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	長江 重和	令和6年6月18日から令和10年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	梅本 孝征	令和6年6月18日から令和10年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	鈴木 政成	令和6年6月18日から令和10年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	田中 博晶	令和6年6月18日から令和10年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	安田 文吉	令和6年6月18日から令和10年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	中島 宗仁	令和6年6月18日から令和10年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(6) 職員数

区 分	事務局		
	業務課	埋蔵文化財 センター	合計
事務局長	1人(派)		1人
課長・所長	1人(派)	1人	2人
専門員・副所長	1人	2人	3人
主査・主任			
主事	3人(派2人)		3人
嘱託	4人		4人
臨時(常勤)	2人	3人	5人
合 計	12人	6人	18人

(派)は瀬戸市からの派遣職員

区 分	管理事務所			
	文化センター	新世紀工芸館	瀬戸染付工芸館	合計
管理事務所長	1人	1人(派・兼)		2人
次長				
嘱託	6人	3人	2人	11人
臨時（常勤）		3人		3人
合 計	7人	7人	2人	16人

（派）は瀬戸市からの派遣職員

（兼）は合計に集計しない。

IV. 附属明細書

事業報告に係る重要な事項は全て前節までに記載してあるため、附属明細書として記載する事項はありません。